

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 1	産業促進課	産業振興グループ

事務事業名		臼杵市漁業担い手育成交付金事業					新規・継続	継続		
				ソフト・ハード					ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-21	安定的な水産業経営の充実							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	漁業者の高齢化に伴い、漁業従事者数が激減しており、漁業就業者の確保が重大な課題となっています。この事業は本市において新たに漁業を開始する方が円滑に漁業に従事できるよう、就業初期段階における資金の給付を行うことにより、漁業への就業と定着を図り、将来の水産業を担う人材を確保・育成することを目的としています。 令和2年度承認の2名に対し定着支援を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		①	担い手育成交付金実績人数	後継者・新規就業者の人数	人	1	0	2	0	2
		②	相談窓口での相談件数	窓口への相談件数	件	1	1	2	1	2
		③	担い手育成交付金額	交付金額	千円	3,300	3,600	2,200	2,400	3,240
	④									
事業対象	漁業就業予定者		成果	令和2年度承認の2名に対し定着支援の継続を行いました。漁業の担い手が継続して就業できる環境を整えました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値		
				H30	R1	R2				
	担い手育成交付金実績人数(延べ人数)	後継者・新規就業者の人数	人	5	5	7	7	16		

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)		事業費(千円)	関連する行動指標
11 一般会計	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	266	水産業振興費	18-1227		2,400	① ③
								-	
								-	
a直接経費合計							2,400		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
									2,400

評価の視点	評価		判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			漁業従事者の確保・育成のため、新たに漁業従事を検討している方を対象とした本交付金制度は必要であると考えられます。	
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない			
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			今年度は、交付金を活用した新規就業者・漁業後継者はいませんでした。継続して事業を行うことで、水産業の人材の確保・育成、定着を図ることができると考えられます。	
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない			
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			大分県漁協に漁業後継者や新規就業者の窓口を担ってもらうことで、漁業者間調整にかかる事務が軽減されました。	
A		A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない				
事業の問題・課題		今年度は、交付金を活用した新規就業者・漁業後継者はいませんでした。理由の一つとして、本事業の周知不足が考えられます。また、市外からの新規就業者に対する受け入れ態勢が確立しておらず、指導者とのマッチングサポート、住居の紹介など移住に向けた支援の取組の強化が必要です。				
具体的な改善案		新規漁業者の確保のため漁業就業フェアへ関係者とともにリモートにて参加しました。リモートブースには訪問者が少なかったため、来年度は、漁協臼杵支店及び県と指導者の確保や指導方法の確立等受け入れ態勢や指導者とのマッチングサポート協議を重ねていくとともにリアルブースの設置も検討します。また、住居の紹介など移住支援部署との連携も図っていきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		高齢化により漁業者が減少していく中、後継者を確保していくことは必要です。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 2	産業促進課	産業振興グループ

事務事業名		臼杵市ものづくり産業促進事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
基本項目	事業内容 (経緯)	市内の製造業を営む中小企業の成長を促進し地域経済の活性化を図るため、生産力の向上や競争力強化のために行う設備投資に対しその費用の一部を助成しました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	補助金交付金額	補助金交付金額	千円	6,916	7,150	10,177	9,737	－
		②								
		③								
	④									
事業対象	市内の製造業を営む中小企業		成果	8件の中小企業者が本事業を活用し、生産拡大や効率化を図るために行う新規設備の導入の支援が図られました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
		補助金活用件数	本事業の補助金を活用した中小企業者数	件	8	7	8	8	－	

コスト

関連する予算事業													
会計		款		項		目		事業		節(または説明)		事業費(千円)	関連する行動指標
11	一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	225	商工業振興費	19		9,737	
												-	
												-	
										a直接経費合計		9,737	
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)	
												9,737	

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			本事業により市内製造業者の積極的な設備投資につながるとともに、設備投資の際に市内業者に発注させることで地域経済の活性化にも寄与しています。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			本事業により市内の製造業を営む中小企業の設備投資の促進や生産拡大及び経営基盤の強化が図られていると考えます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			小規模事業者新規展開事業と併せて運用することにより、事業者の設備投資を効率的に支援することができています。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		制度の創設から5年が経過しているため、地域や事業者の現況に沿った内容に変更する必要があります。			
具体的な改善案		小規模企業者新規展開事業補助金と併せて事業内容を見直し、雇用の支援も含めた新たな制度を創設します。			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由	来年度、他の補助事業と併せて、新しい補助制度を創設するので、完了とします。
------	----------------------	----	---------------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 3	産業促進課	産業振興グループ

事務事業名		空き店舗等総合支援事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-16 商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業 内容 (経緯)	中心市街地の賑わい創出及び地域経済の活性化を図るため、対象区域内の空き店舗を活用して事業を行う事業者等に対し、補助金を交付しました。							
	行 動 指 標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① 空き店舗等総合支援事業相談件数	相談件数	件	6	8	6	6	6
		②							
		③							
		④							
	事業 対象	事業者		成果	新規に3件の補助金活用があり、市内中心部の空き店舗減少及び活性化が図られました。				
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
		補助金交付件数	補助金交付件数	件	6	5	2	3	4

コスト

関連する予算事業																
会計		款		項		目		事業		節(または説明)		事業費(千円)		関連する行動指標		
11	一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	225	商工業振興費	18		2,550		①		
												-				
												-				
										a直接経費合計		2,550				
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)			県補助金(千円)			市債(千円)			使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)	
															2,550	

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か				空き店舗を活用する事業者等への補助を行うことで、空き店舗が減少するとともに、商店街及び中心市街地の活性化につながっています。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない			
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			
	A		A:期待した通りの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		空き店舗が活用されることによって生まれる経済効果に加え、事業者が商店街組合、商工会議所等の団体に加入することで、まちづくりの活性化にも寄与しています。	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか					事業者の民間活力による空き店舗活用を図ることで、行政単体で維持管理等を行うことに比して、効率的に効果を出すことができています。
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない				
事業の問題・課題		賃貸するために修繕や住居部分との分離が必要などの理由により活用不可な空き店舗もあるため、対象区域内の活用可能な空き店舗の数が少ないです。また、活用可能な空き店舗であっても、不動産会社等が関与していないため、利用希望者への周知ができていない物件があります。				
具体的な改善案		現状活用不可の空き店舗所有者に対し、賃貸物件として活用してもらえるよう働きかけていきます。また、活用可能な空き店舗については、空き店舗バンクへの登録を促し、利用希望者への周知を図っていきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		市内中心市街地等において空き店舗が増加する中、本事業により空き店舗が活用され、中心市街地の活性化を図っていく必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 4	産業促進課	産業振興グループ

事務事業名		創業支援事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
基本項目	事業内容 (経緯)	新たに創業する人に対し、創業時に必要な初期費用の一部を補助しました。 また、創業希望者等を対象とした、創業支援事業計画に基づく特定創業支援事業(創業支援セミナー)を開催しました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	創業支援セミナー開催回数	創業支援セミナー開催回数	回	2	2	2	2	2
		②	創業支援セミナー参加者数	創業支援セミナー参加者数	人	24	15	10	18	20
		③	補助金相談件数	補助金相談件数	件	6	5	6	4	7
	④									
	事業対象	創業者及び創業予定者		成果	1件の創業者が本事業の補助金を活用し、起業しました。					
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		補助金交付件数	補助金交付件数	件	4	4	3	1	5	

関連する予算事業										
コスト	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
	11 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	490 創業支援事業費	10	30	① ②		
	11 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	490 創業支援事業費	12	500	① ②		
	11 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	490 創業支援事業費	18	1,000	③		
	a直接経費合計						1,530			
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
										1,530

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			創業支援セミナーにより創業人材を育成するとともに、創業時に必要な初期費用の一部を助成し市内業者に発注させることで、地域経済の活性化にも寄与していると考えられます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			本年度の補助金交付件数は少なかったものの、創業支援セミナーには18名の参加者があり、潜在的創業者の掘り起こし及び創業機運の醸成が図られていると考えられます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			空き店舗等総合支援事業と併せて、市内で起業する事業者に対し総合的に制度の説明や案内を行うことで、効率的な事務事業の執行が図られていると考えられます。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		本事業を活用した創業者の事業安定及び成長を促すような仕組みづくりが必要であると考えます。			
具体的な改善案		おおいたスタートアップセンター等の創業支援機関と連携し、創業予定者の把握に努めるとともに、創業者に対する定期的なヒアリング等を行います。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	創業に意欲ある市民や移住希望者の方が増えているため、今後も支援対策を強化していく必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 5	産業促進課	産業振興グループ

事務事業名		企業立地促進事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-17 地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業 内容 (経緯)	企業立地促進条例に基づき、企業の立地及び設備投資を促進し、産業の振興及び雇用拡大を図ることを目的に助成措置を講じました。							
	行 動 指 標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① 臼杵市企業立地促進条例に基づく助成金額	助成金交付実績額	千円	4,000	47,163	46,500	28,100	30,000
		② 地場企業への訪問件数	企業訪問件数	社	100	100	70	63	100
		③							
		④							
	事業 対象	市内中小企業		成果	市内企業へ訪問し、経営状況や設備投資に対する助成事業の説明を行いました。また、5事業所に対し企業立地条例に基づく助成を行い設備投資の支援が図られました。				
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		臼杵市企業立地促進条例に基づく助成企業数	延べ助成企業数	件	14	16	18	19	23

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	225	商工業振興費		28,100	①	
								-		
								-		
	a直接経費合計							28,100		
	直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
								28,100		

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			国内での企業誘致環境は厳しい状況となっている中、設備投資や規模拡大などを検討している企業に魅力と感じてもらえる助成制度は必要であると考えられます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			5社(新規1社、継続4社)へ助成しており、産業の振興及び雇用の拡大が図られました。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない			
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			助成を受けるためには市民の雇用を創出することが必須となり、地場企業の強化と合わせて雇用の創出ができていため、効率的な事務事業の執行が図られていると考えられます。
A		A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
	事業の問題・課題		新設3名、増設1名を確保するという雇用拡大に係る助成金交付条件により、事業の活用を控える事業者がいる可能性があります。		
具体的な改善案		積極的な企業訪問により、本事業が市内の雇用拡大を目的としていることを企業に理解いただくとともに、情報収集及びニーズ調査を実施し、中小企業が活用しやすい制度にしていきたいと考えます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	本市の安定的な雇用創出と定住、産業の振興の為、継続して支援策を行っていく必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 6	産業促進課	産業振興グループ

事務事業名		臼杵市小規模企業者新規展開事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致							
基本項目	事業内容 (経緯)	中小企業の設備投資の促進及び経営基盤強化を図ることを目的に、市内で卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業を営む事業者が実施する新規展開及び機能向上につながる店舗の改修や設備の更新等に対し、補助金を交付しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		①	補助金交付金額	補助金交付金額	千円	7,246	5,196	1,652	5,332	－
		②								
	③									
④										
	事業対象	市内で卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業を営む中小企業者	成果	7件の中小企業者が本事業を活用し、新規顧客の獲得や効率化を図るために行う新規設備の導入が行われました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値		
	補助金交付件数	補助金交付件数	件	H30	R1	R2	7	－		

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
	11 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	225 商工業振興費	18	5,919	①		
							-			
							-			
	a直接経費合計						5,919			
	直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)		
								5,919		

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	本事業により市内商業・サービス業の積極的な設備投資が図られるとともに、市内業者に発注させることで地域経済の活性化にも寄与しています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	本事業により市内の卸売業・小売業・飲食サービス業を営む中小企業7社の事業新規展開や経営基盤強化が図られました。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	ものづくり産業促進事業補助金と併せて運用することにより、事業者の設備投資を効率的に支援することができています。
事業の問題・課題		制度の創設から5年が経過しているため、地域や事業者の現況に沿った内容に変更する必要があります。	
具体的な改善案		ものづくり産業促進事業補助金と併せて事業内容を見直し、雇用の支援も含めた新たな制度を創設します。	

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由
		来年度、他の補助事業と併せて、新しい補助制度を創設するので、完了とします。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 7	産業促進課	産業振興グループ

事務事業名		サーラ・デ・うすき管理・運営事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-16 商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業 内容 (経緯)	サーラ・デ・うすきは、「臼杵の台所」を基本コンセプトに「臼杵の食」についての情報発信を行い、中心市街地の賑わい創出施設として、季節に応じた各種イベントの開催や装飾、特産品の販売などを行います。							
	行 動 指 標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① 臼六オープンラボの利用状況	利用者数	人	312	400	244	278	500
		② つまみキッチンの利用状況	利用者数	人	1,270	1,462	377	552	1,500
		③ 市主催イベント回数	回数	回	17	20	3	9	25
		④ 他団体主催イベント回数	回数	回	36	36	30	19	40
	事業 対象	市民及び観光客		成果	令和3年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により季節に応じた各種イベント等が開催できず、本来の目的である中心市街地の賑わい創出ができませんでした。				
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		来場者	サーラ・デ・うすき来場者数	人	84,312	66,923	43,089	41,875	85,000

コスト

関連する予算事業																
会計		款		項		目		事業		節(または説明)		事業費(千円)		関連する行動指標		
11	一般会計	7	商工費	1	商工費	5	まちなかにぎわい創出事業費	229	まちなかにぎわい創出事業費			23,982		① ②		
												-				
												-				
										a直接経費合計		23,982				
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)			県補助金(千円)			市債(千円)			使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)	
															23,982	

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	臼杵が力を入れている食の情報発信を行うことで、臼杵市のPRにつながっていると考えられます。また、中心市街地に立地し、にぎわい創出のイベント等を行っており、市民団体のイベント会場として活用してもらっています。
	有効性	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	今年度より全てのフードコートが活用されており、臼杵の食のPRに繋がっています。今後はより多くの方に全施設利用を促進していく必要があります。
	効率性	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	季節によっては、催しが無い期間があるので、市主催の催しのほか他団体が行う催しを誘致するなどして、常に賑わいが生まれる施設にし、管理・運営を効率化する必要があります。
事業の問題・課題		個人で臼六オープンラボやつまみキッチンを利用する方がまだまだ少ない状況です。個人の利用を促進するとともに、フードコートの出店者とともに臼杵の食材の魅力を発信するための方法を検討する必要がある、来場者数をいかに増やしていくかが課題です。		
具体的な改善案		農産物の生産者や漁業関係者と連携し、臼六オープンラボやつまみキッチンで実演講習会等を実施するとともに、施設を市報等を活用して広報し利用促進に努めます。また、フードコートの出店者と意見交換会を実施する等連携を強化し、臼杵の食の魅力を発信し来場者数を増やしていきます。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		サーラ・デ・うすきを核とした、まち中の賑わい創出と中心市街地の活性化を図っていく必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 8	産業促進課	食文化創造都市推進室

事務事業名		ブランド開発支援事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	うすきブランドの強化と6次産業化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市の農林水産物等の地域資源を活用した安心安全で魅力ある特産品の開発、加工、販売や販路拡大などの主体的な取り組みを支援することにより、特産品のブランド化、地産地消の促進等地域産業の活性化を図ります。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	新商品開発の個数	新たに研究開発された試作品及び商品の個数	個	6	2	2	4	10
		②	外部講師によるセミナーの実施回数	加工食品についてのセミナーの実施回数	回	2	2			3
		③	外部講師によるセミナーへの参加事業者数	加工食品についてのセミナーの参加事業者数	事業者	26	15			40
	④	認定商品を販売する事業者の商談会への出展件数	市が参加する商談会への出展件数	事業者		2	4	5	10	
	事業対象	農林水産加工等を行う組織、食品加工業者など		成果	商品化促進支援事業及び販売力強化事業を2事業者が活用し、臼杵ブランド認証品「うすきの地もの」をめざせる新たな商品が4品完成しました。また、臼杵ブランド認証品が新たに5品認証されました。					
	成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
			臼杵ブランド認証品数	臼杵市のブランド認証制度による特産品のブランド認証の数	個	25	8	13	5	15

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
11 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	1735	ブランド開発支援事業	6,095			
						-			
						-			
a直接経費合計						6,095			
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
								6,095	

評価の視点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			農林水産物等の地域資源を活用した商品開発や改良、販路拡大に取組む事業者へ支援を行うことは、新商品の開発や商品価値を高めることにつながっており、また食文化の推進にも寄与するものです。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			中小の事業者にとって、新商品の開発や既存商品の改良、販路拡大等に対する支援は重要であり、特産品の創出や6次産業化の促進に効果的と考えます。
		A	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			事業者が主催する商談会や催事などに参加することで、独自で事業を行うよりも効率的に効果を出すことができます。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題	補助金の募集期間や制度に柔軟性がないため、事業者にとって使いづらい状況となっているとともに、訴求力のある周知ができないことから、補助金申請事業者が減少傾向にあります。また、外部講師によるセミナーは新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。				
具体的な改善案	これまで年1回であった募集を2回にするとともに、補助率の一部見直し等により、事業者が補助金を利用しやすい環境を整備するとともに、ブランド認証対象事業者を中心に制度の積極的な広報を行います。また、外部講師によるセミナーについては、オンライン形式での開催を検討します。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	臼杵ブランド「うすきの地もの」をブランドとして確立するとともに、販売力の強化等を行っていく必要があります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 9	産業促進課	食文化創造都市推進室

事務事業名		食文化創造都市推進事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	うすきブランドの強化と6次産業化の推進							
	関連施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
		V-15-32	市民の文化・芸術活動の活性化及び伝承							
基本項目	事業内容 (経緯)	本市の持続的な発展のためには、食文化を核とした産業の振興を図る必要があります。この事業は、臼杵食文化創造都市推進協議会(以下、協議会という)が行う、本市の食文化の振興に資する各種取組に要する経費を負担するものなどです。ユネスコ創造都市ネットワークに食文化の分野で加盟申請するとともに、臼杵食文化創造都市推進協議会が行ったシビックプライドの醸成等に資する事業の支援を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		①	ユネスコ創造都市ネットワーク加盟	同左	-	-	-	-	加盟済	加盟済
		②	食文化関連イベント参加者数	協議会が行った食関連イベントに参加した人数	人	-	-	-	4,052	5,737
		③	食文化創造としての海外交流・連携都市数【累計】	食文化創造都市関連として交流や連携した海外の都市の数	都市	-	-	-	-	5
	④									
	事業対象	ユネスコ、市民		成果	ユネスコ創造都市ネットワークに食文化の分野で加盟するとともに、臼杵食文化創造都市推進協議会が行ったシビックプライドの醸成や情報発信、消費拡大等に資する事業を支援するなどしました。また、他の加盟都市と情報共有等を図りました。					
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
	ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟	各種取組みが総合的に評価され、新規加盟及び加盟継続できるため。	-	-	-	-	加盟済	加盟済		

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
	11 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	食文化創造都市推進事業	負担金等	14,900	①	②	③
							-			
							-			
	a直接経費合計						14,900			
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
							10,000		4,900	

評価の視点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		食文化の振興のためには、市内関係者等により組織する協議会が行うシビックプライドの醸成を図る取組などへの支援が必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		ユネスコ創造都市ネットワークに加盟するとともに市民や事業者のシビックプライドの醸成が図られました。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		国内の他都市と比較し、短期間でユネスコ創造都市ネットワークに加盟することができ、コストも抑えることができたと考えます。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		市民や事業者、関連団体などが自ら積極的に取組むことが必要です。		
具体的な改善案		シビックプライドの更なる向上と食関連事業者の意識向上、人材育成を図ります。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	令和7年はユネスコ創造都市ネットワーク加盟の更新手続年となり、途切れることなく継続した各種取組みが重要となります。
------	------------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 10	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名		うすき竹宵事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	市内中心部の二王座歴史の道や歴史文化的な景観などを竹ぼんぼりや趣向をこらしたオブジェが幽玄的に映し出す「うすき竹宵」は25年目を迎えました。秋の城下町に映し出される竹灯りは来訪者の心を引きつけます。大分県を代表する祭りとして、中心市街地の活性化はもとより観光産業全体への活力につながります。 コロナ禍であったため、人の流れや会場における竹ぼんぼりなどの配置を検討し、例年20,000本の竹ぼんぼりを6,000本にするなど規模縮小ではありましたが開催することができました。令和2年度は開催できず、令和3年度は規模縮小ではありましたが、開催することができ、次年度以降のうすき竹宵に繋がる取組みとなりました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	竹宵実行委員会会員の確保	実行委員会会員数	人	128	130	128	128	130
		②								
	③									
	④									
事業対象	観光客、来訪者		成果	令和3年度の竹宵はコロナ禍であったことから、竹ぼんぼりの数を6,000本とするなど規模縮小はしましたが、開催することができ、来年以降のうすき竹宵に繋がる取り組みができました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		来場者数	開催エリアの来場者数	万人	10	10	0	1	10	

関連する予算事業										
会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標			
11 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	13 ふるさとづくり事業費	220 ふるさとづくり事業費(竹宵)	13 伐竹作業等委託料	1,215				
11 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	13 ふるさとづくり事業費	220 ふるさとづくり事業費(竹宵)	550 うすき竹宵実行委員会補助金	1,100				
						-				
a直接経費合計						2,315				
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)			
							2,315			

評価 の 視 点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	「うすき竹宵」は、臼杵市が代表するイベントであり、経済効果や地域の活性化に必要不可欠なものになっています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	規模縮小ではありましたが、多くの来場者により、開催期間中は地元の商店街などの地域活性化に効果がありました。また、使用された竹材は堆肥の原料や竹炭として再利用され、循環型社会構築の一翼を担っています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	補助金と協賛金により運営されていますが、来場者による飲食などにより、市内での経済効果は例年ほどではありませんが、効果があったと考えています。
事業の問題・課題		実行委員会全体の会員数は維持していますが、主体となって活動する会員(特に若手)が不足しています。人材確保・育成に取り組む、次世代へ繋がる組織づくりが必要です。	
具体的な改善案		Facebookや公式HP、市報などで広く呼びかけて新しい人材を確保し、竹宵執行部を中心に組織の活性化を図ります。また、小中学生が積極的に参加し郷土愛に繋がるよう、校長会などを通じてうすき竹宵の魅力発信に努める必要があります。	

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	臼杵市を代表するイベントであり、官民協働で開催され経済効果や地域の活性化に不可欠です。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 11	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名		臼杵駅観光案内所設置委託事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15 観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業 内容 (経緯)	観光客の利便性向上を図るため、本市の玄関口である臼杵駅構内に観光案内所を設置し、観光情報発信を行いました。							
	行 動 指 標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① 開設した日数	案内所を開いた日数	日	-	361	355	359	365
		② 外国人観光客の対応	外国人観光客へ観光案内した人数	人	-	1,151	9	1	1,800
	事業 対象	観光客		成果	臼杵駅にお越しいただいた観光客1,504人(外国人観光客1名)に対応しました。				
		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
成果指標					H30	R1	R2		
		観光客の対応	観光案内した総人数	人	-	4,925	1,933	1,504	7,000

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)		事業費(千円)	関連する行動指標
11 一般会計	7 商工費	1 商工費	3 観光費	228	観光振興費	12	観光案内所事業委託	3,702	
								-	
								-	
a直接経費合計								3,702	
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
									3,702

評価 の 視 点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		JR利用の観光客に対して臼杵市の観光情報などを発信する拠点であるため必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		コロナウイルス感染症の影響により対応した人数は伸びていません。
		C	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		観光案内所の管理運営は必要最小限のコストで実施できていると考えていますが、これまで以上にPRを行い多くの観光客に利用してもらう必要があります。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		観光案内所は最小限のコストで運営しているものの、コロナ禍で来客数が減少していることから運営に関する改善が必要です。		
具体的な改善案		稲葉家下屋敷、吉丸記念館の職員と合わせてローテーション勤務することで、適正な人員数や勤務体制など運営の効率化を図ります。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		コロナ禍で観光客は減少していますが、観光案内機能は今後も重要と考えています。観光情報の提供や旅行のサポートを行い、交流人口の増加につなげる必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 12	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名		臼杵市観光協会補助事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市観光協会は、臼杵市に多くの観光客が訪れるための誘客事業及び本市の魅力を発信するため各方面へPR活動などを行っています。観光客受入れのための各種施策を協会員とともに立案する活動に対し補助するものです。 イベント中止や移動の自粛が長引く中、アフターコロナに向けたPRや誘客事業として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、ふぐ割や美食クーポン等の観光産業振興、学び旅や美仏総選挙など新たな観光企画に取り組みました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		①	エーエージェントへの誘致活動数	エーエージェントへのツアー造成交渉回数	回	60	50	1	32	80
		②	メディアへの情報提供数	メディアへの観光情報提供回数	回	1,566	468	44	120	1,600
	③	観光情報発信サイトへのアクセス数	協会HPアクセス数	回	140,328	145,752	140,476	183,070	200,000	
	④	修学旅行による来訪学校数	修学旅行学校数	箇所	-	-	68	61	20	
事業対象	エーエージェント・メディア・観光客		成果	コロナ禍にあって可能な限りエーエージェントやメディアへの情報提供を行いました。学び旅や美仏総選挙など、新たな取組みに着手することができました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値		
				H30	R1	R2				
	各施設の入込数(石仏、下屋敷、吉丸、野上、サーラ)	1年間の各施設に訪れた観光客数	人	199,875	195,010	82,539	92,392	269,700		

コスト

関連する予算事業												
会計		款		項		目		事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標
11	一般会計	7	商工費	1	商工費	3	観光費	228	観光振興費	18観光情報協会補助金	19,512	
11	一般会計	7	商工費	1	商工費	3	観光費	1954	新型コロナウイルス感染症対策事業	18観光情報協会補助金	106,327	
22	石仏会計	1	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	230	一般管理費	18市観光協会補助金	2,500	
										a直接経費合計	128,339	
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)		一般財源(千円)
				106,327								22,012

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			観光施策事業の展開として、市内の交流人口増加、ひいては経済活動の活性化のために必要と考えます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			学び旅事業により修学旅行誘致が増えると思われます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			収益事業を行うなど、補助金に頼らない協会運営を検討する必要があります。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		コロナにより変化している観光(内容・規模等)に対応した新たな観光の魅せ方が必要で、イベントや情報発信等を積極的に繰り広げる必要があります。			
具体的な改善案		マイクロツーリズム推進として、県内の広域回遊ルートを構築できるよう、県内の主要な観光施設及び自治体への積極的な営業活動や九州の東の玄関口として、フェリー航路を活かした新たな観光スタイルの構築が必要であります。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	法人化された観光推進組織が活動するにあたり、当面は自主財源だけでの活動は厳しくあり、市からの補助金(運営補助・イベント補助)は必要と思われます。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 13	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名		臼杵市観光交流プラザ管理運営事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15 観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業 内容 (経緯)	臼杵市観光交流プラザは、臼杵市全体の魅力を発信する役割を担っており、観光施設や市内の町並みへ誘導する最初の場所、また市民も集い交流できるにぎわいの場所となっています。							
	行 動 指 標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① SNS等を使った情報発信数	FBへの書き込み数	回	97	80	81	64	10
		② イベントの開催数	特産品のPRを中心としたイベント実施数	回	91	63	-	-	50
		③ うすきあるきの定期的開催数	開催数	回	22	17	30	-	30
		④							
	事業 対象	観光客、来訪者		成果	県内の修学旅行や宝さがし等のイベント、観光施設の情報等を本市を訪れた観光客に情報提供することができました。				
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		プラザの来館者数	来館者数	人	42,991	40,898	39,230	42,476	57,860

コスト

関連する予算事業																
会計		款		項		目		事業		節(または説明)		事業費(千円)		関連する行動指標		
11	一般会計	7	商工費	1	商工費	3	観光費	1664	臼杵市観光交流プラザ運営費			19,395				
												-				
												-				
										a直接経費合計		19,395				
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)			県補助金(千円)			市債(千円)			使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)	
															19,395	

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			臼杵市観光の総合窓口的役割を担っています。地域観光資源の発表の場やギャラリー展示を開催するなど貸館の充実も必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			コンシェルジュより観光客にきめ細かな観光案内、情報発信を行いました。コロナの影響もあり来館者数は伸び悩んでいます。
		B	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			中心市街地のにぎわい創出、経済波及効果につながるイベント企画が必要と思われます。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題	コロナウィルスの影響で来館者数に影響が出ています。観光客が多く立ち寄るような発信が必要で、観光協会を中心に、商店街を含めたまちなかの方々、料飲店組合、商工会議所等の関係機関との連携を深めた運営などの創意工夫が必要です。				
具体的な改善案	1階、2階の展示ブース、ギャラリーを広く利活用してもらうとともに、SNS等により臼杵市の観光情報のきめ細かな情報発信を行います。プラザを活用して、臼杵市に興味を持ってもらうような展示や来たくするようなイベント開催を行えるよう各種関係団体との連携強化を図ります。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市内を訪れる観光客への情報発信施設として重要であり、継続して適切に管理運営していく必要があります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 14	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		臼杵市環境保全型農林振興公社運営支援補助事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
基本項目	事業内容 (経緯)	公益社団法人臼杵市環境保全型農林振興公社の取り組む各種事業は、環境保全、土づくり、有機農業を目指す農家を支援することを目的に、補助金を交付しました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	有機堆肥等散布面積	有機堆肥等散布	ha	31	26	39	33	31
		②	うすき夢堆肥散布面積	うすき夢堆肥散布	ha	43	39	54	39	48
	③	稲わら等梱包面積	稲わら等梱包	ha	16	14	15	15	14	
	④	田畑耕起面積	田畑耕起	ha	6	4	6	6	6	
事業対象	市内農家		成果	オペレーターや事務職員の配置により、農林公社の各種事業を円滑に実施することができました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		当期収支決算額	当期収支決算額	円	▲ 584,962	35,760	1,881,281	6,125,565	100,000	

コスト

関連する予算事業												
会計		款	項	目		事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
11	一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	1852	農林振興公社事業費	農林公社運営支援事業補助金	15,036	
											-	
											-	
									a直接経費合計	15,036		
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)	
											15,036	

評価 の 視 点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農家の高齢化等により、堆肥の運搬散布や田畑耕起などの各種事業は年々必要性が増しています。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		必要なオペレーターの数を確保することで、時間に余裕が でき安全面にも十分に配慮しつつ、農家の希望どおりの日 程で事故無く作業ができます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		臼杵市内の農地を熟知し、農協と共同出資している農林公 社が各種事業を行うことでより効率的な作業ができます。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		農家の減少などにより農作業受託等の収入が減少傾向にあります。		
具体的な改善案		農業者の意向等を把握するとともに、農林振興公社の役割の検討を行います。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	堆肥の運搬散布などの作業委託については、農家の ニーズも高く、今後も引き続き農林公社を支援する 必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 15	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		農業後継者就農促進事業(アグリ起業学校)					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-18	雇用の確保・就労支援							
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市アグリ起業学校の農業機械を含む施設整備及び専任講師を配属することにより、農業研修生が実践的な研修を受講できるよう受入体制を整え、研修後に独立就農できるよう就農支援を行いました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	研修生受入れ組数	アグリ起業学校に入校した研修生組数	組	4	2	2	3	3
		②								
		③								
	④									
	事業対象	就農研修生		成果	研修生が作物の栽培管理だけでなく、農業機械などの動作研修も行うことができ、スムーズに独立就農できるようになりました。					
	成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		研修後の就農組数	研修終了後、臼杵市で就農した研修生の組数(毎年)	組	2	4	2	2	3	

コスト

関連する予算事業												
会計		款	項	目		事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
11	一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	10	研修者及び女性活動支援費	1048	農業後継者就農促進事業	補助金及び交付金並びに講師謝金を除く	2,035	
											-	
											-	
									a直接経費合計	2,035		
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)			県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)		一般財源(千円)
										2,643		-608

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	新規就農者の確保は、農業の担い手確保だけではなく定住促進対策としても重要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	農業の担い手確保とあわせて、臼杵市への定住を促進するため移住支援担当課と連携し、就農と定住の両方ができています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	人口の確保だけでなく、移住者の職業(農業)もあわせて確保できます。
事業の問題・課題		市外からの就農希望者の住居及び農地の確保並びに専任講師の確保が課題です。	
具体的な改善案		圃場の確保、住居の確保、就農にあたっての栽培技術取得、資金の確保について一元的な管理業務を行う必要があります。	

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		農家の高齢化が進む中、担い手の育成・確保は、喫緊の課題であり、本事業については、今後も継続して取り組む必要があります。

番号	課名	グループ名
E - 16	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		経営所得安定対策等(直接支払)推進事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	国からの交付金を活用した高収益作物への転作推進のため、市内の水田農業者の作付計画を収集管理し、直接支払となる経営所得安定対策等事業における交付金受給手続きや経営指導などに関する事務や補助などを行う事業で、臼杵市農業再生協議会を主に取り組みでいます。併せて令和元年度より経営所得安定対策等推進事業の対象者を主とした水田農業者の生産性向上や集落営農活動に資する機械導入補助事業も行い、水田農業者への更なる支援を図ります。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3実績値	R6計画値	
					H30	R1	R2			
		①	地域農業再生協議会における規定の会合実施回数	協議会の幹事会・総会等の実施回数	回	4	4	5	4	4
		②	「営農計画書」の配布・回収数	協議会把握の水田営農者数(水田0データ除く)	件	1,314	1,200	1,200	1,100	1,100
		③	活用推進説明会等開催数	説明会等の開催数	回	1	1	1	1	1
	④	事業交付金活用件数	交付金の申請種類ごと累計	数	770	99	85	85	90	
	事業対象	水田・畑作(戦略作物)農家		成果	加工用米や飼料用米、高収益作物等に転作推進を絞り、交付金等を最大限活用した推進を行いました。新型コロナウイルスによる需要停滞等から交付金額は伸び悩みましたが、園芸品目等高収益作物では、交付金額が前年比で1,251万円増額となりました。中規模水田農業者への機械導入補助においては、集落営農組織など3件に対し、大型機器の導入支援等を行いました。					
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3実績値	R6計画値	
					H30	R1	R2			
		経営所得安定対策等交付金額	経営所得安定対策等交付金額	千円	96,362	118,583	105,790	107,318	110,000	

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	8 水田農業振興費	1043	水田農業構造改革事業	経営所得安定対策等直接支払推進事業費	6,289		
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	2 農業総務費			会計年度任用職員報酬	3,500		
							-		
a直接経費合計							9,789		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
		5,577						4,212	

評価の視点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		経営所得安定対策関連交付金の有効活用のため、地域農業再生協議会を運営し、特徴ある産地づくりや農業者の所得向上を目指すことは、地域内農業者のニーズに十分合致していると考えます。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		国の交付金制度を推進し、需要に応じた作付け促進を行うことは、米穀類の価格安定及び地域内農家の所得増加に効果があると見込まれます。
		A	A: 期待したおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		地域農業再生協議会の運営事務も多様化しつつある中で、専門的な知識・技術を持つ人的資源が恒常的に不足しており、水田畑地化の推進事業や国の事業方針の転換への対応に対し、事務作業等の効率的な運営や農業者のサポートの面で改善の余地が残ります。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		国による生産調整(減反)の規制緩和や事業方針の転換などから、交付金対象件数や交付金額は減少しています。そのような中でも引き続き実施される転作推進関連の交付金などについては、農業再生協議会へ活用の期待が課せられており、地域内農家の所得向上に繋がるように国・県の交付金などの有効活用を図っていく必要があります。また、水田などの集約化を進めることで、ほ場の管理と生産性の効率化を図り、機械協同利用組合の設立などを促すなどの機械導入補助の活用し、農業者や集落営農組織による地域ほ場の集約を推進します。		
具体的な改善案		大分県中部振興局や農協などの関係機関と、農繁期前から定期的に情報交換会を行うことで農業者や地域等の情報を共有し、活用できる交付金、あるいは病虫害発生における現状の対応などを協議し、農業者に対し、必要に応じた情報等の周知を行っていきます。また、国・県の新たな補助事業や政策などが示された時は、関係機関と地域の実情や生産者の要望などを協議し、それらに適するものがあれば、積極的な事業の活用を進めて、生産者の所得向上へ繋げていきたいと思います。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		水田農業については、高齢化による担い手減少や米価の下落など厳しい状況であることから、引き続き高収益作物への転換、担い手への農地集約など推進していく必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 17	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		活力あふれる園芸産地整備事業(野菜対策)					新規・継続	継続	
							ソフト・ハード	ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成						
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業内容 (経緯)	農村における高齢化や後継者不足により園芸品目の生産面積が減少していく中、農業の担い手である認定農業者の規模拡大や新規就農者確保のため、本事業を活用しハウス施設、省力化機械、集出荷施設等の整備を行いました。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① 補助対象農家数	受益を受ける農家戸数	戸	20	60	26	49	30
		② 補助受益面積	受益を受ける栽培面積	ha	7	30	4	13	4
		③							
	④								
事業対象	農業者		成果	栽培施設・機械の導入による栽培面積の拡大および栽培体制の効率化により、安定した農業経営につながりました。					
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
				H30	R1	R2			
	推進品目の栽培面積	ピーマン、ニラ、いちご、甘藷、甘ネギの栽培面積	ha	94	96	98	100	102	

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	9 野菜・果樹・花き等振興費	1045	園芸農業構造改革対策事業	18 負担金補助及び交付金	209,800		
							-		
							-		
a直接経費合計							209,800		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)	
				160,903				48,897	

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			野菜の栽培面積を拡大するためにはハード面の整備が必要です。農業の担い手である認定農業者、新規認定就農者を対象としており、今後の臼杵市農業の振興に効果があります。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			面積拡大による生産量増加、生産設備・機械等の導入による作業省力化・効率化や品質向上が見込め、生産者の所得の向上が図られます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			事業実施により振興品目の栽培面積、販売額が拡大しています。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題	アグリ起業学校やファーマーズスクールなどの担い手確保・育成対策により、毎年多くの新規就農者が誕生しています。特にピーマンにおいては生産者数、作付面積ともに年々増加しており、有用な農地の確保が課題となっています。				
具体的な改善案	農業委員会や大分県農地中間管理機構などの関係機関と緊密に連携し、空き農地の情報共有等を行うことで、貸し手と借り手のマッチングに努めます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		新規就農者や規模拡大を目指す農家にとっては、経営安定のため必要な事業であることから、継続的に支援していく必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 18	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		臼杵市茶産地育成事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	株式会社伊藤園との産地育成協定のドリンク茶専用茶園80haを目指し、お茶の乗用型摘採機のリース導入に対して補助を行いました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	防霜施設整備面積の増加60ha(1期事業分)	茶園の霜害の解消面積	ha	63	64	64	64	67
		②	遊休農地(畑)の未然防止99ha	茶園面積(遊休農地の未然防止面積分)	ha	86	88	88	89	91
		③	省力化機械導入	乗用型茶園管理機等(累計)	台	8	9	10	11	13
	④									
事業対象	農業者		成果	乗用型摘採機を導入することで効率的な作業体制の構築、省力化を進めることができました。本事業により、次期作以降の生産量の増加、品質の向上を図ることができます。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		産地化の確立105ha	茶園面積(累計茶園面積)	ha	91	93	94	95	97	

コスト

関連する予算事業												
会計		款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標			
11	一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	9	野菜・果樹・花き等振興費	1046	大分茶産地強化対策事業	大分の茶産地強化対策事業補助金	5,834	
											-	
											-	
								a直接経費合計	5,834			
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)	
			3,500		1,166						1,168	

評価 の 視点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			乗用型摘採機を導入し効率的な作業体制の構築、省力化を進めることで、生産量の増加、品質の向上が図られ、産地の拡大に繋がります。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			乗用型摘採機の導入は、収益の7割程度が見込まれる1番茶の荒茶単価維持のためには有効で、茶園管理の省力化が図られます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			乗用型摘採機をリースで導入することにより初期投資は抑えられています。また、関係機関による経営指導により、効率的な事業になるよう努めます。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		(株)伊藤園との産地育成協定と安定した経営のため、さらなる園地面積の拡大を求められており、まとまった優良農地の確保など今後も継続した支援が必要です。また、産地拡大が進む中で新たな茶工場の建設について検討が必要です。			
具体的な改善案		茶生産計画・生産施設更新計画・経営計画などの情報を生産者、県、市で共有し、今後の事業を計画的に進めていく必要があります。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	産地育成協定に基づき、生産面積拡大、経営安定のための機械導入など引き続き支援が必要です。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 19	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		青年就農給付金事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-18	雇用の確保・就労支援							
基本項目	事業内容 (経緯)	農村地域が抱える「人」と「農地」の問題解決に向け、また、地域の担い手となる新規就農者の確保と営農定着を図るため、就農から経営が安定するまでの間(独立自営就農時から最長5年間)資金を交付することによって、経営支援を行うものです。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	新規就農者確保の取組み	新規就農者相談会の開催(出展)回数	回	13	9	4	2	13
		②								
		③								
	④									
事業対象	個人農家(独立自営就農時の年齢が50歳未満)	成果	資金を交付することによって、新規独立自営就農者の生活及び経営安定を図ることができ、担い手の定着と農産地の維持ができます。							
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		新規就農者数(自営就農者)	法人等への雇用就農ではない新規独立自営就農者数	人	8	19	13	16	10	

コスト

関連する予算事業												
会計		款	項	目		事業		節(または説明)		事業費(千円)	関連する行動指標	
11	一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	8	水田農業振興費	1603	青年就農給付金事業	農業次世代人材投資資金	70,123	
11	一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	8	水田農業振興費	1603	青年就農給付金事業	(推進事業費)	240	
											-	
									a直接経費合計		70,363	
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)		一般財源(千円)	
					70,363							

評価 の 視点	評価		判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			投資資金制度によって、就農者を確保し定着させることができました。	
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない			
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			技術や資金面から発生する新規就農者の経営(離農)リスクを抑えることができました。	
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			法令の改正により交付金額が前年所得による変動制から定額制に代わり、経営向上への意欲を新規就農者に持たせることができました。		
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない				
事業の問題・課題		資金交付の要件として、対象者が「耕作地域における今後の農業担い手」として位置づけられる必要があり、地域として新規就農者を受け入れ支援していくという雰囲気醸成や、良好な関係の構築が継続して必要です。また、就農者の農地の確保及び住宅の確保が引き続き大きな課題です。				
具体的な改善案		本年度も引き続き、新規就農者の農地及び住宅の確保のため、移住支援担当課と連携した支援を行います。また、新規就農者が就農後も継続的に指導のできる地元生産者(先輩農家)とのマッチングを重視し、支援していきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農家の高齢化が進む中、新規就農者の獲得は急務であり、若手の新規就農者の初期の経営安定策として有効であり、引き続き取り組みを行います。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 20	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		多面的機能支払交付金事業					新規・継続	継続	
							ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成						
	関連施策名 (施策コード)	II-5-10	地域内交流・地域間交流						
基本項目	事業内容 (経緯)	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るために、地域の共同活動(水路・農道の維持管理等)に係る支援を行うものです。 活動は大きく「農地維持支払交付金」(農道の草刈・水路の泥上げ等)と「資源向上支払交付金」(水路・農道・ため池の軽微な補修等)の2つから構成され、令和3年度は、51組織が活動に取組みました。また、新規で設立を希望する地区に新規設立手続きの説明を行いました。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		①	活動組織への説明会開催回数	実績報告や活動内容についての説明会開催回数	回	4	4	4	4
		②	事業の周知	未取組地区への事業内容等の広報件数	回	3	1	1	4
	③								
	④								
	事業対象	市内各地域の農用地・農業用施設	成果	既に取り組んでいる組織は、活動を計画どおり行い、地域の農地維持・景観形成が図られました。また、2組織が新規設立し、2組織が活動期間の更新を行いました。					
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
	協定農用地面積	交付金の算定根拠となる農用地の面積	ha	715	736	733	718	735	

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	11 国庫補助金等交付金事業	1298 多面的機能支払交付金事業(農地・水)	18 負担金及び交付金	33,712			
						-			
						-			
a直接経費合計						33,712			
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
		17,157		8,277				8,278	

評価		判断基準		理由
評価の視点	必要性	A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	各地区住民(主に農業者)がまとまって、地区の農用地や関連施設を維持・保全管理する活動に役立っています。
	有効性	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	計画に基づいた適切な活動(農用地及び農業用関連施設の維持管理)が実施されています。
	効率性	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	市の負担は全体事業額の1/4で、農用地や農業用施設の維持・管理・補修が計画的に行われており、多面的機能の維持保全ができています。
	事業の問題・課題	農村環境の維持・保全のために多くの地区がこの事業に取り組めるように、説明会の実施等の働きかけをしました。		
具体的な改善案		担い手が不足する原因である事務処理手続きについて、全組織に事務処理の補助となる冊子を作成し、配布しました。また、組織から活動についての質問があった際には、組織運営に役立つよう手紙にて全組織に回答を通知しました。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農業者を中心に地区住民がまとまって、農地や農道・水路等の施設の維持保全管理に取り組むことで農村環境の保全に役立っています。事業効果も見込めることから今後も推進を図ります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 21	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		中山間地域等直接支払交付金						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19 農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業 内容 (経緯)	中山間地域の農地の保全と水源涵養を目的として、集落での農地の管理・維持を行う計画を基に協定を締結し、面積と活動内容に応じた交付金を交付します。第5期対策として、令和6年度までの5年間実施されます。							
	行 動 指 標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① 集落協定数	協定を締結する集落数	箇所	15	17	16	16	17
		②							
		③							
	事業 対象	集落協定の対象農用地及び協定参加者	成果	協定に基づく活動により、中山間地域の農用地と関連施設(農道・水路)が適切に管理されました。					
		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
成果指標		協定集落の交付金対象となる農用地の面積	傾斜度 水田 1/100以上 畑 8°以上	ha	100	116	112	110	115

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	11 傾斜ある農地づくり推進事業費	1052 中山間地域直接支払推進事業	18 負担金補助及び交付金	15,498			
						-			
						-			
a直接経費合計						15,498			
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)	
		7,748		3,874				3,876	

評価の視点	評価		判断基準	理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			交付金の活用により、協定農用地のみならず、農道・水路の管理や景観作物の植付がなされ、地域の環境保全にもつながっています。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			耕作放棄地の発生の抑止に効果を発揮しています。 また、集落活動の活性化にも寄与しています。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			市の負担は全体事業費の1/4で、農用地や農業用施設の維持・補修が計画的に行われ、中山間地での多面的機能の維持ができています。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		高齢化等により、集落のリーダーと担い手が不足しています。また、病気等により離農する協定参加者があり、協定農用地面積が減少する集落があります。			
具体的な改善案		5期対策では、ほとんどの集落協定で集落戦略(マスタープラン)を作成する予定です。将来を見据えた計画となるので、担当者もアドバイスしながら計画策定を実施するとともに、地域の課題解決に取り組みます。 また、集落内での担い手の確保や将来リーダーとなりうる人材の育成にも取り組みます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		中山間地域の条件不利地域における農地や農業用施設の維持管理については、本交付金は有効であり、地域の環境保全が図られています。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 22	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名		土づくりセンター管理・運営事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	I -1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	持続可能な農業振興、おいしくて安全・安心な農産物の提供のためにはミネラル豊富な良質の土が必要であるため、より自然に近い堆肥を人工的に生産し、安全・安心で健全な農業振興を図ります。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3	R6
						H30	R1	R2	実績値	計画値
		①	うすき夢堆肥製造量	うすき夢堆肥製造量	t	1,648	1,550	1,650	1,800	1,750
		②								
	③									
	④									
事業対象	臼杵市民			成果	堆肥の製造量は昨年比の150t増となりました。また、堆肥出荷繁忙期(1月～4月)の対応として、令和2年度から実施している予約販売の受付を11月から行ったことで出荷調整が図れました。					
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3	R6	
					H30	R1	R2	実績値	計画値	
		うすき夢堆肥販売量	うすき夢堆肥販売量	t	1,650	1,508	1,825	1,471	1,700	

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	15 土づくりセンター運営管理費	1506 土づくりセンター運営管理費	指定管理委託料	35,000			
					施設整備工事費	13,871			
					修繕料ほか	2,600			
a直接経費合計						51,471			
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)	
						12,100	8,930	30,441	

評価の視点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		本来の健全な田畑に戻していくため「うすき夢堆肥」等による土づくりに重点を置き、農業者が取り組みやすい環境づくりを行い、安全で美味しい農産物作りを目指す必要があります。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農業の本来の姿について考え、農業が生命産業であること、そして健康に生きていくための安全な「食」・旬の農産物への理解に繋がります。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		製造工程の一部見直しなどにより製造量が増加し、効率的な効果がでています。。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		近年は有機農業はもとより、慣行農業においても堆肥の需要が大幅に伸びているため、事前破碎を行う等、生産量を増やす実証試験を行い生産量を増やすことはできたが、反面、消耗品類の摩耗が激しくコストが増加するなど安定生産に向けた課題があります。 大型機械及び施設等の耐用年数が来ており、機械及び施設の改修工事が必要です。		
具体的な改善案		製造においては生産工程の見直し、効率化を図っています。また、販売においては繁忙期の1月～4月までの間、予約販売を行い在庫調整管理を行います。 大型機械及び施設改修等の修繕・交換等の計画を立て維持管理を行います。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由
		「うすき夢堆肥」は、土壌改良剤として有機農業のみならず、慣行農業にも使用されており、本市の農業の核となるものであることから、今後も安定的な供給体制を継続していく必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 23	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名		ほんまもんの里うすき農業推進協議会						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	本市の農業生産基盤をより活用した農産物を生産し、安全・安心な「ほんまもんの里・うすき」ブランド確立を目指すため「環境保全型農業の推進」、「競争力のある産地作りの推進」、「地産地消の推進」を行いました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3	R6
						H30	R1	R2	実績値	計画値
		①	ほんまもん農産物認証シール配布数	金、緑の認証シール配布数	枚	125,440	164,797	188,400	135,200	200,000
		②	給食ほんまもん農産物野菜使用率	野菜の全体重量におけるほんまもん農産物の割合	%	12	15	13	11	50
		③	オーナー農園参加者	玉ねぎ、甘藷、馬鈴薯のオーナー人数	人	235	257	269	380	280
	④	子どもの農業体験数	植付体験、収穫体験等の農業体験回数	回	39	43	33	18	50	
事業対象	生産者・消費者(市民)		成果	学校給食への供給率拡大に向けた主要3品目の作付け・保存の実証試験により、今後の供給率拡大に向けた一定の方向性がまとまり、農家への指導並びに保存方法等の情報提供が図れました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3	R6	
					H30	R1	R2	実績値	計画値	
		ほんまもん農産物生産者数	ほんまもん農産物生産者数	人	54	62	63	54	59	

関連する予算事業									
コスト	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	16 有機農業推進事業費	1535 有機農業推進事業費	市の負担金申請を行わず、協議会独自の予算で運営を行った。	4,000	① ② ③ ④	
							-		
							-		
	a直接経費合計						4,000		
	直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
								4,000	

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	「ほんまもんの里・うすき」ブランド化を推進するためには、PR促進と農産物の安定供給が必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	ほんまもん農産物のPR活動を行い、販売店へ販路拡大を図る必要があります。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	安心・安全な農業を確立する必要があります。
事業の問題・課題		地産地消の推進の内、取り扱い店の拡大やほんまもん農産物の学校給食への利用拡大に向けた、技術的な指導を強化し、生産量向上に向けた取組みが急務です。	
具体的な改善案		学校給食への利用拡大に向けた取組みとして、主要3品目の契約栽培を推進し、供給率向上及び安定生産に向けた取組みを強化します。	

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由
		「ほんまもん農産物」の普及による、販路構築、安定した生産に向けた栽培技術の向上は不可欠であり重点的に取り組む必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 24	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名		地域おこし協力隊(有機農業)					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進							
基本項目	事業 内容 (経緯)	有機農業隊員として栽培研修、販売対策等の事業に取り組みました。例年実施している研修内容に加え、令和3年度からは、学校給食での「ほんまもん農産物」の供給率向上のための農産物の保冷実証試験を実施しました。								
	行 動 指 標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	協力隊員数	採用者数	人	3	2	3	1	0
		②	ひゃくすた実施回数	実施回数	回	12	11	8	12	12
		③								
	④									
事業 対象	有機農業の生産者		成果	地域おこし協力隊が中心となり臼杵石仏公園で毎月第一日曜日に「ほんまもん農産物」を中心とした朝市を開催しPRに繋がりました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
		新規就農者数	地域おこし協力隊卒業生後に新規就農した人数	人	0	2	0	2	0	

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	16 有機農業推進事業費	1757	有機農業推進事業(地域おこし協力隊)	有機農業推進事業(地域おこし協力隊)	14,111		
							-		
							-		
a直接経費合計							14,111		
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
								14,111	

評価		判断基準		理由
評価の視点	必要性	A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	「ほんまもん農産物」の安定供給と販路拡大のためには生産者の増加及び生産量の拡大が重要であり、生産者を育成するための地域おこし協力隊制度が必要です。
	有効性	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	協力隊による「ほんまもん農産物」のPR活動や実践研修により、有機農業の基盤強化、担い手の確保に繋がります。
	効率性	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	協力隊として3年間の研修を終了後、独立自営の経営を行うことができますが、協力隊の制度上、研修時間が週30時間と限られるため、農業に必要な幅広い知識を学ぶににくい側面があります。
	事業の問題・課題	協力隊の制度上、3年間で技術の習得、販路の確保、土地の確保、簿記のような経営に関する知識の習得等全てを網羅できにくいことや、退任後の安定的な収入確保に向けた、環境づくりも課題です。		
具体的な改善案		協力隊制度での技術習得に加え、イベント出展での販路の確保や希望品目を作付けする土地の確保、契約栽培への検討、簿記講座への参加による知識の習得等をカリキュラムに加えることで、独立した際に必要な知識・技能を習得するよう研修形態の改善や、行政と連携した委託業務等を検討します。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由
		「有機の里うすき」の取り組みにおいて、担い手育成は最重点課題であり、地域おこし協力隊事業は、有効な手段として継続する必要があります。

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 25	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		森林整備事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	多様で健全な森林への誘導							
	関連施策名 (施策コード)	VII-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	森林・林業の再生に向け、平成29年度に「臼杵市森林整備計画」を樹立しました。この計画を臼杵市の森林整備のマスタープランと位置付、森林の経営者による40年間の長期計画及び5年ごとの実施計画を盛り込んだ「森林経営計画」の作成が必要となりました。しかしながら、本市での経営計画達成率は、以前低く経営計画作成推進は急務であります。また、市・議会・自治会・森林所有者と取り組んでいます水源涵養の維持・増進を図る施策については、今後も継続して取り組んでいきます。「100年先を見据えた森林づくり」を実施するための、臼杵市森林整備計画を作成しています。また、木質資源の価値及び林業全般の収益向上に向け、木材集積場の整備を行いました。森林の公益的機能が発揮できるよう森林整備を検討し進めています。								
	行	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
	動	①	森林経営計画の推進	臼杵市森林整備計画に基づく森林経営者への経営計画作成推進面積	ha	6,814	6,957	5,318	5,563	18,981
	指	②	臼杵市有林の整備	臼杵市森林整備計画及び森林経営計画に基づく市有林の整備面積	ha	41	68	42	11	80
	標	事業対象	森林経営者	成果	森林経営計画の作成推進において、民間の協力により246haの合意形成を得られました。					
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値		
	森林経営計画の認定面積増加	森林経営計画認定面積	ha	6,814	6,957	5,318	5,563	18,981		

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)		事業費(千円)	関連する行動指標
11 一般会計	6 農林水産業費	2 林業費	3 公有林整備事業費	265	公有林整備事業費	市有林整備事業		3,280	
								-	
								-	
a直接経費合計								3,280	
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
									3,280

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		A A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	森林所有者が森林経営や管理を実行することは困難となっ てきています。計画区域近くの森林で、森林所有者が 林業事業体へ森林施業を委託するよう推進する必要があ ります。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		A A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	森林経営計画の作成により長期的な整備計画が可能とな ります。また、モデル地域を設定することにより臼杵市の 水源が保たれます。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		B A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	森林の所有者情報や境界の確定が遅れているため情報の 収集や調査方法の検討が急務です。	
事業の問題・課題		担い手不足や素材生産業者の人員確保に早急に努める必要があります。			
具体的な改善案		臼杵市森林整備計画に基づき、効率的な森林整備につなげていき、林業就業希望者への研修や林業事業体への職場環境改善に向けた助成などにより、人員確保に努めます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	森林の持つ多面的機能を十分発揮させるため、「100年先を見据えた森林づくり」に取り組む必要があります。
------	------------------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 26	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		竹林再生事業						新規・継続	継続		
										ソフト・ハード	ソフト
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成								
	関連施策名 (施策コード)										
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市には広大な竹林がありますが、現在その大部分が荒廃竹林として人の手のつかない状況となっています。一度荒廃した竹林を整備することは難しい上に他の土地に侵食し竹林の規模は大きくなり、状況は悪化していくばかりです。このような状況を改善するために、補助事業を活用し整備を行い筍採取等竹林を有効利用できる状態にします。 荒廃した竹林を間伐し、筍生産に適した優良竹林面積が拡大しました。									
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
						H30	R1	R2			
		①	竹林再生面積	1年間の施業面積	ha	5	1	1	1	2	
		②									
		③									
	④										
	事業対象	荒廃竹林		成果	市内2カ所 0.97haの荒廃竹林の整備により、竹林の保全につながっています。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値		
					H30	R1	R2				
		優良竹林への整備	1年間の施業面積	ha	5	1	1	1	2		

コスト	関連する予算事業								
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	6 農林水産業費	2 林業費	2 林業振興費	258 林業振興費	おおいた竹林再生事業補助金	1,755		
							-		
							-		
	a直接経費合計						1,755		
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
					1,755				

評価 の 視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	荒廃竹林整備対して注目や問い合わせが増えていきます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	竹林整備を行い、林内環境が改善され筍の収穫がしやすくなり、所有者の竹林を維持に対するモチベーションを高めることが出来ています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか B: 効率的に効果が出ている C: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ている	申請書類の作成及び現地確認など、申請者の負担軽減を図っていきます。筍生産に繋がる優良竹林整備のため、皆伐希望の方には補助金対象にならないことに対し、申請者との協議が必要となっています。
事業の問題・課題		チップ加工業者の工場休止などで、申請者の負担増が考えられたため、申請取り下げがありました。	
具体的な改善案		竹粉碎機の利用促進を市報等で周知する。チップ加工可能な工場を調査し、受け入れてもらうための条件を聞くなど、竹林整備の体制を整えます。	

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由
		今後も継続して荒廃竹林を整備することで、筍生産だけでなく、有害鳥獣のひそみの場所をなくすことで、農林産物の被害の減少につながります。

番号	課名	グループ名
E - 27	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	未整備林整備促進事業		新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	多様で健全な森林への誘導	
	関連施策名 (施策コード)	VII-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進	

基本項目	事業内容 (経緯)	平成30年5月25日、林業の成長産業化と森林の適正な管理を推進することを目的とし「森林経営管理法」が成立となり、平成31年4月1日から施行されることになりました。臼杵市では、優先順位を付けながら一定の面的なまとまりをもったエリアを設定し、森林所有者の意向調査を行った上で権利設定を行い、今回の仕組みが円滑に進むよう、林業事業体と検討・準備を進め、国や県からの支援、協力をお願いしながら、未整備森林の解消に努め、森林整備を実施することになります。森林環境譲与税を活用した森林整備を実施するため、臼杵市内の未整備森林を把握するための調査業務委託及び令和2年度意向調査を実施しました。また、市が経営管理権を取得し、令和3年度に森林整備が可能な未整備森林の境界測量業務を行いました。							
	行	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
	動 指 標	①	未整備森林の整備	ha	H30	R1	R2	10	80
		②							
		③							
		④							
	事業対象	未整備森林の森林所有者	成果	未整備森林の森林所有者へ、森林整備に対する意向調査を実施しました。2名の森林所有者(面積12ha)と未整備森林整備における経営管理権を取得することができました。					
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
		未整備森林整備面積の増加	未整備森林の経営管理権取得面積	ha	H30	R1	R2	10	80

コスト

関連する予算事業										
会計	款		項		目		事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標
11 一般会計	6	農林水産業費	2	林業費	2	林業振興費	1887 未整備林整備促進事業(森林環境譲与税)	未整備林整備事業	11,694	
									-	
									-	
								a直接経費合計	11,694	
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
										11,694

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	B	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	未整備森林のみ森林整備が可能であるため、森林組合に管理を委ねている組合員の森林は対象外です。
	有効性	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	未整備森林に対する森林整備であるので、令和3年度から整備に入るように計画している。台風時の倒木や下刈り、作業道整備が可能となるので、良好な森林となる効果が得られました。
	効率性	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	国、県から配分される森林環境譲与税を活用し、森林整備を行います。未整備森林のエリアを選定し、その森林の所有者から、森林整備について効率よく意向調査を実施できました。
事業の問題・課題		市内の未整備森林について、各森林所有者の境界が明確になっていないのが現状です。また森林所有者名義が死亡者で、かつ未登記となっており、森林所有者を探索しなければなりません。		
具体的な改善案		未整備森林の管理境界を明確化できるように、森林環境譲与税を活用して、林業関係者及び団体に境界調査を依頼できるよう体制を整える必要があると考えています。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	森林の有する地球温暖化防止や災害防止、水源涵養などの公益的機能を維持するためには、未整備林の整備にも取り組む必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 28	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	有害鳥獣捕獲事業		新規・継続	継続
			ソフト・ハード	ハード
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	有害鳥獣(イノシシ、シカ、サル、小動物等)の被害に対して、猟友会への捕獲依頼、獣害防護柵設置、電気柵設置などの事業を行いました。農林業生産者の生産意欲の向上促進のため、農産物等の被害軽減を図りました。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
		①	有害鳥獣捕獲による被害の防止	有害鳥獣捕獲事業における実績数	頭	H30	R1	R2	
		②	鳥獣侵入防護柵設置による被害の減少	防護柵設置地区数	地区	12	8	6	10
		③	電気柵設置による被害減少	電気柵補助件数	件	27	23	29	30
		④							
	事業対象	農林業者		成果	有害鳥獣捕獲については、前年比の捕獲数が伸びており被害の減少が図られています。侵入防護柵は、10地区で設置を行いました。電気柵設置についても30基の補助を行い被害減少が図られました。				
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
		農林作物の被害金額	臼杵市鳥獣被害防止計画の被害軽減目標	千円	H30	R1	R2		
					5,591	4,883	6,943	5,000	4,500

コスト

関連する予算事業												
会計		款	項		目		事業		節(または説明)		事業費(千円)	関連する行動指標
11	一般会計	6	農林水産業費	2	林業費	2	林業振興費	260	林業振興費(有害鳥獣対策分)	有害鳥獣捕獲事業	38,745	
11	一般会計	6	農林水産業費	2	林業費	2	林業振興費	260	林業振興費(有害鳥獣対策分)	臼杵市鳥獣被害防止対策協議会補助金	1,400	
11	一般会計	6	農林水産業費	2	林業費	2	林業振興費	260	林業振興費(有害鳥獣対策分)	有害鳥獣被害防止対策事業	3,124	
									a直接経費合計		43,269	
直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)			県補助金(千円)			市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
						30,000						13,269

評価の視点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			農林業生産者の経営基盤を構築し、活力ある農林業を行うため捕獲と防除(有害鳥獣捕獲、侵入防護柵設置、電気柵設置)を継続的に行う必要があります。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
			目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		
	有効性	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		捕獲、侵入防護柵、電気柵を組み合わせることにより鳥獣被害から田・畑・山林を守り経営の健全化、所得の向上等が図られ効果が得られます。
行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか					
効率性	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		有害鳥獣捕獲事業、電気柵事業(県1/3、市1/3)、侵入防護柵事業(国100%)については交付金事業等で行っており、被害減少に関する取組の市負担額を軽減し、事業実施を行うことができます。	
		事業の問題・課題			
事業の問題・課題		捕獲事業については、猟友会会員の高齢化による減少及び銃保持者の減少が課題です。 侵入防護柵については、地区の高齢化が進んでおり設置および維持管理が課題です。			
具体的な改善案		捕獲事業について狩猟免許講習会の費用を補助し人員の確保を行えるようにします。 侵入防護柵について地区全体での設置および定期的な維持管理計画を立てます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	猟友会の協力により、有害鳥獣捕獲による被害減少の効果は出ており、また、侵入防止策、電気柵の設置により獣害対策には有効です。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 29	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		ため池等整備事業(廃止ため池)						新規・継続	継続	
		ソフト・ハード	ハード							
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	決壊すると下流域に重大な影響を及ぼす恐れのある、現在使われていない防災重点ため池について、水が溜まらないようにすることにより防災・減災を図ります。 ため池2箇所の廃止工事が完了しました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3	R6
						H30	R1	R2	実績値	計画値
		①	実施事業費(累計額)	ため池廃止工事	千円	-	5,542	20,729	30,971	60,100
		②								
		③								
	④									
	事業対象	地域住民		成果	老朽化したため池の廃止工事により、災害時に決壊の恐れが無くなり地域住民の安全が図れます。					
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3	R6	
					H30	R1	R2	実績値	計画値	
		事業進捗率	累計事業負担額÷全体事業負担額	%	-	9	34	52	100	

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	6 農林水産 業費	1 農業費	5 農地費	1883	危険ため池整備事業(ため池 廃止)	14 工事費	10,242		
								-		
								-		
	a直接経費合計							10,242		
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)	
			10,200						42	

評価 の 視 点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		災害時に決壊した場合、地域住民への危険性が高まるため、使用していないため池の廃止工事は必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		堤体に貯水が出来なくなるようにする工事であり、決壊の危険性が無くなるため工事は有効です。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		過去に廃止したため池については、ため池下流域の水路整備等が残っています。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		現在使用していないため池については、耕作者や地権者も不明なことが多く、工事で必要な作業用道路の整備に伴う用地の調整に時間を要します。		
具体的な改善案		地元区長、水利組合等に協力してもらい、スムーズに工事が進捗できるようにします。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	使用されていない、ため池を廃止することで、下流域に住む住民の安心・安全を確保することが出来ます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 30	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		農業用施設整備工事					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	農業用施設(農道・水路・ため池・頭首工等)の整備、修繕等を地元要望により実施します。 農業用施設の17箇所において整備・修繕を行いました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	工事件数	整備・修繕等の工事件数	件	13	9	13	17	17
		②								
		③								
	④									
	事業対象	農業従事者		成果	整備・修繕等の工事により農業用施設の機能が改善され、農業生産の安定・拡大につながります。					
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
		実施率	工事実施箇所÷当該年度要望箇所(補修要望があり市が工事する必要がある箇所)	%	92	78	72	57	100	

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	6 農林水産 業費	1 農業費	5 農地費	251 農地費(その他)		14 工事費	8,834		
								-		
								-		
	a直接経費合計							8,834		
	直接経費財源内訳			国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
										8,834

評価 の 視 点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農業に必要な施設の整備であり、必要不可欠です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農業生産安定のための工事であり、実施すれば直ちに効果を得られます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		施設整備を行うことにより、維持管理の低減と農業生産の安定・向上が図られるため効率性は高いです。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		農業用施設の老朽化が進み、各地区からの要望箇所が多く、要望を頂いてから事業着手までに時間を要しています。		
具体的な改善案		要望箇所を再調査し、緊急性・必要性が高い箇所を選定して、1地区でも多く事業できるようにします。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農業用施設の整備は、農業生産の安定や生産性の向上に欠かせないものであるため、継続して取り組んでいきます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 31	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		緊急自然災害防止対策事業						新規・継続	単年	
								ソフト・ハード	ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	老朽化したため池2箇所の堤体部を改修及び補修を行い、災害の防止を図ります。 ため池2箇所の補修工事が完了しました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	実施事業費	ため池工事	千円	-	-	619	4,986	
		②								
		③								
	④									
	事業対象	農業従事者		成果	ため池の補修工事が完了し、農業用水としての利用や災害時の決壊などの防止が図られました。					
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
		事業進捗率	単年度実施事業費÷全体事業費	%	-	-	10	100		

コスト

関連する予算事業												
会計		款		項		目		事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標
11	一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	5	農地費	1892	緊急自然災害防止対策事業	14 工事費	4,367	
											-	
											-	
										a直接経費合計	4,367	
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)
								4,300				67

評価 の 視点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			農業に必要な施設の整備であるとともに、災害防止にも繋がるため必要不可欠です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			貯水機能を向上する工事であり、実施すれば直ちに効果が得られます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			整備を行うことにより、維持管理の低減と農業生産の安定につながった。
		A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		

事業の問題・課題	ため池の老朽化が進み、補修等の要望箇所が多く、事業費が高価なため事業着手までに時間を要しています。
具体的な改善案	-

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由	
------	----------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 32	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		道路補修工事(野津地域)						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-21-51	交通安全対策の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	野津地域内の市道の舗装補修、側溝補修及び小規模改良工事、その他維持補修工事を地区からの要望や突発的な破損等に対し、随時施工しています。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	工事件数	補修・改良等の工事件数	件数	9	21	14	13	20
		②								
		③								
	④									
	事業対象	市道利用者		成果	道路補修工事により、より安全な通行ができ、道路の排水処理が改善されます。					
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
		実施率	工事実施箇所÷当該年度要望箇所(実際に補修要望があったものに対する割合)	%	47	29	28	54	70	

関連する予算事業									
コスト	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	8 土木費	2 道路橋りょう費	2 道路維持費	1106 道路維持事業	14 道路補修工事費	12,191		
							-		
							-		
	a直接経費合計						12,191		
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
									12,191

評価 の 視 点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		市民生活に密着した市道の補修であり、必要不可欠です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		市民の安全を守るための補修工事であり、部分的ではあるが、道路機能の維持延命が図れ、道路機能の長期維持が期待できます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		地区要望や突発的な破損等に迅速に対応するため、低コストの工法検討を行い、処理できています。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		予算に対して要望箇所が多く、対応しきれない面があります。		
具体的な改善案		コスト削減に努め、優先順位を決めて計画的に実施します。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	市民生活の安心・安全を確保するため、今後も市道の維持補修は必要な事業です。
------	------------------------	----	---------------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 33	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		農業水利施設保全合理化事業(乙見ダム)					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	乙見ダムは、昭和45年に建設されこれまで約50年が経過し、ダム内の土砂堆積により維持管理に多大な労力を要しています。農業水利施設保全合理化事業により維持管理費の軽減及び施設の長寿命化を行い、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。 令和3年度は、堆積土砂の量を確認するための詳細調査及び堆積土砂の撤去工事を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		①	事業費負担額(累計額)	国55%、県29.3%、市15.7%	千円			7,282	31,400	68,682
		②								
	③									
	④									
事業対象	農業従事者		成果	今年度は、堆積土砂の撤去工事を行いました。予定していた量を搬出することは出来ませんでした、土砂の状態等の把握が出来ました。来年度の事業において円滑な進行へと撤去がスムーズに進行する事が出来ると思います。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値		
				H30	R1	R2				
	工事の進捗率	累計事業負担額/全体事業負担額	%			9	56	100		

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	6 農業用ダム促進費	255	農業用ダム費(県工事負担金)	県工事負担金	31,400		
							-		
							-		
a直接経費合計							31,400		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
						28,800		2,600	

評価の視点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農業に必要な水利施設の整備を行うとともに、下流河川における水害の発生防止が図れるため必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農業生産安定のための工事であり、実施により直ちに効果が得られます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		施設整備を行うことにより、維持管理の低減と農業生産の安定・向上が図れますので効率的です。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		ダム内の工事という性質上、雨期に工事が出来ないため、工事の進捗に時間を要します。		
具体的な改善案		工事発注者である大分県中部振興局と密に連携し、計画的な工事の進捗を図ります。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	乙見ダムの堆積土砂を撤去することは、貯水容量の確保と適正なダム操作を行うには欠かせないものであるため、積極的に取り組む必要があります。
------	------------------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 34	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農業水利施設保全合理化事業(石場ダム)		新規・継続	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成	
	関連施策名(施策コード)			

基本項目	事業内容(経緯)	石場ダムの用水施設・管理省力化施設は、昭和46年に建設され、これまで約50年が経過し、施設の老朽化により補修や維持管理に多大な費用と労力を要しています。農業水利施設保全合理化事業により維持管理の軽減及び施設の長寿命化を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。 令和3年度は、田中調整池のバルブの切り込みと斜樋工の補修設計を実施しました。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
					H30	R1	R2		
		① 事業費負担額	国55%、県29.3%、市10.7%	千円	35,729	40,805	42,361	47,156	52,469
		②	10.7%の内臼杵市負担 76.5% 豊後大野負担 13.7%						
		③							
		④							
	事業対象	農業従事者	成果	令和3年度は、田中調整池のバルブの切り込みが完了しました。これにより配水流量の調節が容易となり、維持管理の軽減を図ることが出来ました。					
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
		工事の進捗率	累計事業費負担額/全体事業費負担額	%	68	78	81	90	100

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	6 農業用ダム促進費	255	農業用ダム費(県工事負担金)	県工事負担金	4,795		
								-		
								-		
	a直接経費合計							4,795		
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
							3,000		1,795	

評価の視点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農業に必要な水利施設の整備を行うとともに、下流河川において水害の発生防止が図れるため必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農業生産安定のための工事であり、実施すれば直ちに効果を得られます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		施設整備を行うことにより、維持管理の軽減と農業生産の安定・向上が図れるため効率的です。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		ダムの改修工事という性質上、雨期に工事が出来ないため、工事の進捗に時間を要します。		
具体的な改善案		工事発注者である大分県中部振興局と密に連携し、計画的な工事の進捗を図ります。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	老朽化した石場ダムの用水設備を計画的に整備することにより、維持管理費の節減と地域農業の生産性を向上させます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 35	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		農業用施設改良資材費(生コンクリート)支給事業					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	市内の各地区より農道の補修、整備の要望があった場合、公共工事として施工することが困難な事案については、それぞれの地区より原材料(生コンクリート等)の支給申請書を提出してもらい、各地区で補修、整備を行うものです。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	申請地区数	支給申請書提出地区	地区	105	105	97	91	105
		②								
		③								
	④									
事業対象	農道利用者		成果	公共工事の及ばない道路の補修、整備を行うことができました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		申請地区に対する支給率	申請地区に対して実際に支給を行った割合	%	100	100	100	100	100	

コスト

関連する予算事業												
会計		款		項		目		事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標
11	一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	5	農地費	1087	一般農地事業	15 原材料費	18,626	
											-	
											-	
										a直接経費合計	18,626	
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)
												18,626

評価 の 視 点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	公共工事の及ばない農道の補修、整備が原材料の支給により実施できるので必要な事業と思われます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	公共工事の及ばない農道の補修、整備が原材料の支給により地区内の道路が整備されるため、利便性の向上が図られます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	公共工事として施工せず、原材料の支給のみとしていることから、工事に係る諸経費を削減できています。
	事業の問題・課題	農村地域の後継者不足や高齢化により、原材料支給での農業用施設を整備することが困難になると考えられます。	
具体的な改善案		引き続き、農業用施設補修の事業化の検討を行います。	

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農道の舗装を地元施工により実施することで、通行者の安心・安全を確保でき、今後も必要な事業です。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
E - 36	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		農業体質強化基盤整備促進事業(田城地区)					新規・継続	新規		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	農業体質強化基盤整備促進事業(田城地区)は、現在水田として利用している圃場約10haの内、6.24haを畑地化し、高収益作物(ピーマン・ニラ・甘藷等)作付けに特化した圃場として令和3年度より事業を開始しています。 令和3年度は、国の定額補助金を利用し、地元施工による畦畔の撤去等(1.34ha)を行い、1区画の面積を大きくし大型のハウスを設置できるように整備を行いました。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	実施面積	畑地化整備面積	ha				1	6
		②								
		③								
	④									
事業対象	農家及び新規就農者		成果	令和3年度は、本事業の定額補助金により、1.34haの整備が完了し、新規就農者3件が就農できました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		事業進捗率	累計整備面積/全体整備予定面積	%				21	100	

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
11 一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	5 農地費	1087	一般農地事業	農業体質強化基盤整備促進事業補助金	2,700		
							-		
							-		
a直接経費合計							2,700		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)	
		1,407						1,293	

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		アグリ起業学校やファーマーズスクールの卒業者への圃場の確保が難しくなっている中、まとまった圃場が確保できるため、必要な事業です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	
	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	田城地区の圃場は、元々水田で利用していましたが、水の透水性が高く水田としては向いていません。畑地化により、有効的な土地利用が出来ます。	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		整備にかかる事業費は高くなりますが、この圃場では高収益作物の作付に特化した形で利用するため、収益も高くなり効果がすぐに出ると考えています。	
A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		田城地区の圃場整備は換地を行いますので事業期間が長くなる可能性があります。		
具体的な改善案		地元水利組合と連携を密にして、事業がスムーズに進捗できるようにします。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	効率的かつ安定的な畑作農業を実現するためには、本事業による基盤整備が必要です。
------	---------------	----	---